

令和2年 1月 28日

弘前市上下水道事業
弘前市長 櫻田 宏 様

樋の口浄水場等建設事業者選定委員会
委員長 福士 憲一

樋の口浄水場等建設事業に関わる最優秀提案者の選定結果について

樋の口浄水場等建設事業に関わる最優秀提案者について、当委員会における審査の結果、最優秀提案者選定結果報告書のとおり選定したので報告いたします。

樋の口浄水場等建設事業 最優秀提案者選定結果

報告書

令和2年 1月

樋の口浄水場等建設事業者選定委員会

目 次

1. 民間事業者の募集及び選定の手順	1
1) 事業者選定のフロー	1
2) 参加資格審査	2
3) 提案書類審査	2
2. 選定委員会の開催経過	3
3. 応募事業者	3
4. 審査結果	4
5. 選定結果	6
6. 審査の講評及び総評	6

1. 民間事業者の募集及び選定の手順

樋の口浄水場等建設事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者を決定するにあたり、樋の口浄水場等建設事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において、本事業への参加を希望する民間事業者（以下「応募者」という。）の提案を審査した。民間事業者の決定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用し、応募者からの提案を総合的に評価した。

1) 事業者選定のフロー

本事業における事業者の選定は、次の手順で実施した。

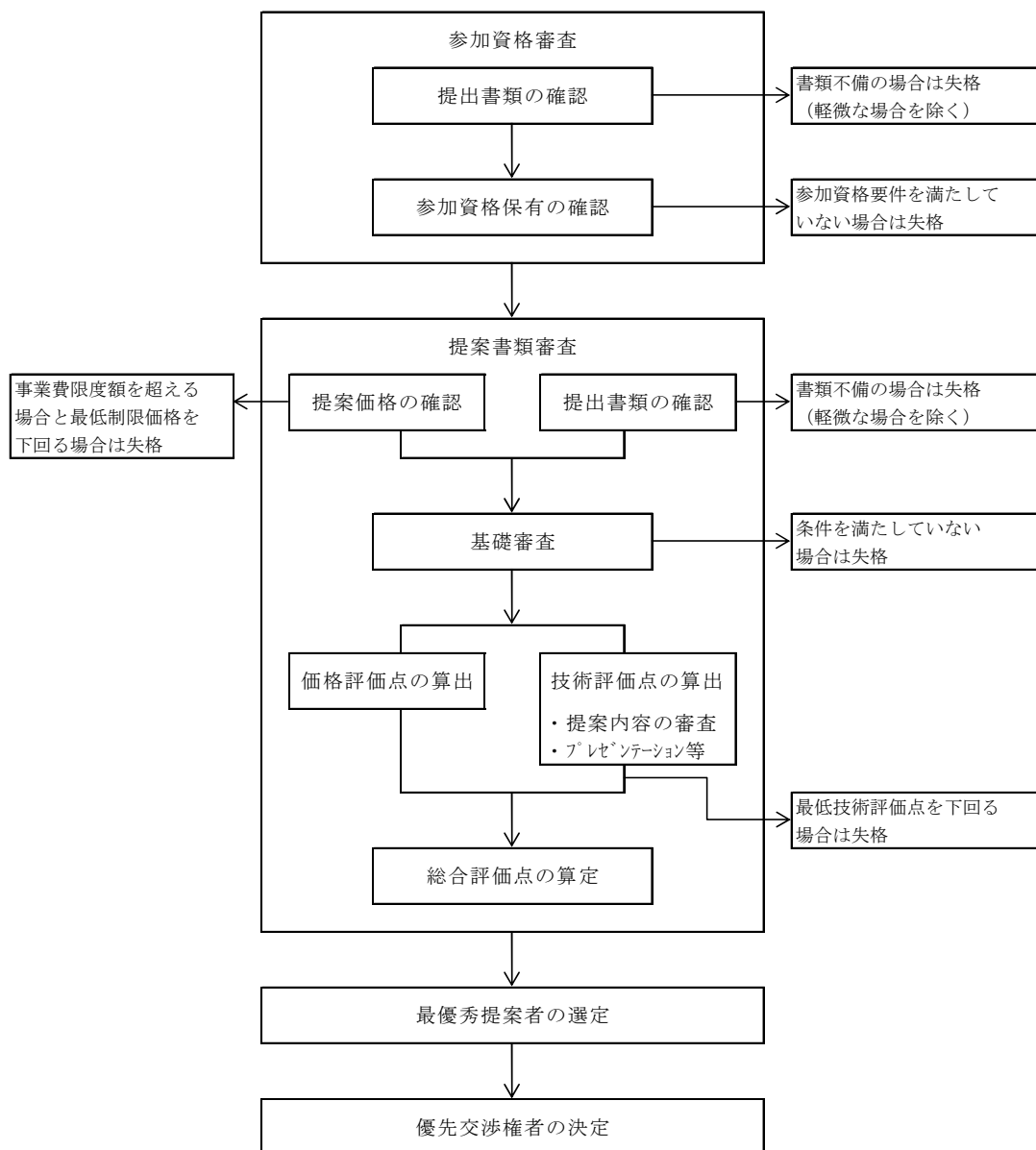


図1 事業者選定のフロー

2) 参加資格審査

(1) 参加資格確認申請時における必要書類の確認

実施方針、募集要項等を選定委員会で決定した後、市は応募者から提出された参加資格確認申請書及びその他の添付書類について、必要書類が揃っていることを確認した。

(2) 参加資格保有の確認

必要書類の確認の後、市は募集要項等で規定する本事業を実施するための必要な資格を有していることを確認した。

3) 提案書類審査

(1) 提出書類の確認

応募者より提案書類の提出を受けた後、市は提案書類がすべて揃っていることを確認した。

(2) 提案価格の確認

応募者より提案書類の提出を受けた後、市は提案価格書に記載された提案価格の設計及び建設工事費、運転管理業務委託費が、各事業費限度額の範囲内であることを確認した。

(3) 基礎審査

提出書類及び提案価格の確認の後、選定委員会は提案価格が事業限度額及び最低制限価格の範囲内にある応募者を対象として、「要求水準書達成の確認」及び「設計及び建設工事費及び運転管理業務委託費の算出根拠の確認」を行った。

(4) 価格評価及び技術評価審査

基礎審査の後、選定委員会は、提案価格書に記載された提案価格及び提案書に記載された提案内容について、総合的な評価を行った。

価格評価及び技術評価は、「事業者選定基準」に従って得点化を行った。

(5) 総合評価点の算定

選定委員会は、応募者の提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容に基づき、選定基準により評価を行った。

総合評価は価格評価点と技術評価点を合算したものを総合評価点とし、総合評価点が高い提案を行った者を最優秀提案者として選定した。

2. 選定委員会の開催経過

表1に、選定委員会の開催経緯を示す。

表1 選定委員会の開催経緯

開催日時	審議内容等
第1回 平成31年2月26日(火) 13:30~16:00	(1) 委員長の選出 (2) 委員長職務代理者の選出 (3) 弘前市水道事業概要について (4) 樋の口浄水場等建設事業概要について
第2回 平成31年3月14日(木) 13:30~15:00	(1) 実施方針(案)の審議 (2) 今後のスケジュールについて (3) 建設事業費の内訳について
第3回 令和元年6月12日(水) 10:00~15:00	(1) 公募資料の審議
第4回 1日目:令和2年1月27日(月) 9:40~17:00 2日目:令和2年1月28日(火) 10:00~12:00	(1) 応募グループによるプレゼンテーション (2) ヒアリング、質疑・応答、審査 (1) 最優秀提案者の選定

3. 応募事業者

令和元年8月26日から8月30日までをプロポーザル参加表明書及びプロポーザル参加資格確認申請書の提出期間とし公募を行った結果、2グループからの参加表明があった。

市は参加表明があった2グループについて、プロポーザル参加資格要件を有していることを確認した。

その後、12月2日から12月6日までの技術提案書の受付期間中に、以下の2グループから技術提案書の提出があった。

- (1) Iグループ(代表企業:株式会社クボタ東北支社)
- (2) IIグループ(代表企業:水道機工株式会社北東北営業所)

4. 審査結果

技術評価点

技術評価審査項目		配点 (点)	Iグループ	IIグループ
大項目	小項目		評価点	評価点
1. 事業計画に関する事項				
1. 実施方針	①事業実施の基本方針	10	8.40	6.00
2. 事業計画	①役割分担の適切性	5	2.65	2.65
	②事業全体の管理・リスクへの対応	10	6.54	5.14
3. 各業務の実施体制と業務担当者の実績	①資格・実績	5	2.29	1.10
4. 事業スケジュールに関する提案	①事業スケジュール	5	2.80	3.50
5. 継続教育、安全管理に関する提案	①継続教育、技術継承及び安全管理等の人材育成	5	2.50	3.50
6. セルフモニタリングに関する提案	①設計期間中のセルフモニタリング	5	3.50	1.80
	②建設期間中のセルフモニタリング	5	2.80	2.10
	③運転管理期間中のセルフモニタリング	10	6.70	4.90
小 計		60	38.18	30.69
2. 更新整備に関する事項				
2-1. 共通事項				
1. 全体計画に関する提案	①全体計画	20	12.96	12.64
2. 調査に関する提案	①調査計画	5	2.20	3.50
3. 施工・工程管理に関する提案	①施工・工程計画	10	4.90	5.20
4. 工事管理に関する提案	①工事管理	5	2.25	2.95
	②既設運転管理業務者との調整	10	6.40	4.80
5. 環境配慮に関する提案	①環境に配慮した更新整備計画	5	2.95	2.80
	②環境に配慮した施工計画	5	2.40	3.80
6. 災害及び事故対応に関する提案	①工事期間中の災害及び事故対応	5	2.40	1.80
7. その他提案	①その他	5	2.65	2.30
小 計		70	39.11	39.79
2-2. 岩木川取水ポンプ場				
1. 土木・建築施設に関する提案	①土木・建築施設整備計画	15	7.20	9.70
2. 電気設備に関する提案	①電気設備整備計画	10	4.55	3.59
3. 機械設備に関する提案	①機械設備整備計画	5	2.27	2.39
小 計		30	14.02	15.68
2-3. 新樋の口浄水場				
1. 浄水施設に関する提案	①浄水施設（混和池・フロック形成池・沈澱池・急速ろ過池・薬品注入施設・紫外線処理設備等）について	20	12.96	10.24
2. 排水処理施設に関する提案	①排水処理施設（排水池・排泥池・濃縮槽・機械脱水設備等）について	20	12.80	8.94
3. 土木・建築施設に関する提案	①土木・建築施設整備計画	10	5.50	6.30
4. 電気設備に関する提案	①受電及び自家発電施設整備計画	6	3.04	2.96
	②監視制御設備整備計画	6	3.24	3.54
	③電気設備整備計画	3	1.53	1.17
5. 機械設備に関する提案	①機械設備整備計画	15	9.30	7.80
小 計		80	48.37	40.95

技術評価審査項目		配点 (点)	I グループ	II グループ
大項目	小項目		評価点	評価点
2-4. 新常盤坂増圧ポンプ場				
1. 土木・建築施設に関する提案	①土木・建築施設整備計画	5	2.80	2.80
2. 電気設備に関する提案	①受電及び自家発電施設整備計画	4	1.94	1.84
	②電気設備整備計画	3	1.38	1.17
3. 機械設備に関する提案	①機械設備整備計画	5	2.60	1.95
4. 増築計画に関する提案	①将来用施設計画	3	1.44	1.26
小 計		20	10.16	9.02
3. 運転管理業務に関する事項				
1. 運転管理計画、マニュアル・計画書等の整備運用に関する提案	①各種計画書・マニュアル整備・運用	10	4.93	4.79
2. 運転管理に関する提案	①更新対象施設の運転管理	10	7.80	5.60
	②場外施設の運転管理	5	2.80	2.40
3. 保守点検に関する提案	①更新対象施設・設備の保守点検	10	6.20	6.40
	②場外施設・設備の保守点検	5	2.50	2.40
	③施設・設備等の機能及び性能確認、保持等	10	6.20	4.90
4. その他の運転管理業務に関する提案	①薬品・光熱費燃料等の調達・管理に関する提案	3	1.92	1.92
	②施設見学対応等に関する提案	3	1.50	1.26
	③その他、清掃・植栽管理、警備、除雪等の業務に関する提案	3	1.62	1.53
5. 災害・事故対応における提案	①緊急時の対応	10	4.80	6.40
6. 本市職員への事業期間中の技術継承支援及び引継ぎ業務に関する提案	①技術継承支援及び引継ぎ（運転管理業務開始時・事業終了時）に関する提案	8	5.04	3.84
7. 環境配慮に関する提案	①低炭素社会への貢献	8	5.60	4.00
	②浄水汚泥に関する提案	8	3.36	3.84
	③周辺環境への配慮	3	1.26	1.62
8. その他提案	①先進性、独自性	4	2.24	1.68
小 計		100	57.77	52.58
4. その他				
1. 地域経済への貢献に関する提案	①設計、建設工事期間	15	10.50	7.20
	②運転管理期間	15	9.30	9.60
2. プレゼンテーション		5	3.50	3.80
3. アセットマネジメントに関する提案	①アセットマネジメント	5	3.50	2.50
小 計		40	26.80	23.10
合 計		400	234.41	211.81

価格評価点

分 類	配点	I グループ	II グループ
価格評価点	100点	98.78	100.00

総合評価点

分 類	配点	I グループ	II グループ
総合評価点 (技術評価点+価格評価点)	500点	333.19	311.81

5. 選定結果

選定委員会において評価を行った結果、4. 審査結果のとおり「Iグループ」が総合評価点において最も高い点数となった。この結果を受け、選定委員会において「Iグループ」を最優秀提案者に選定した。

最優秀提案：Iグループ

代表企業：株式会社クボタ東北支社

構成企業：東芝インフラシステムズ株式会社東北支社

佐藤工業株式会社東北支店

株式会社弘新建設

弘南建設株式会社

クボタ環境サービス株式会社東北支店

株式会社N J S 青森出張所

株式会社東京設計事務所青森事務所

6. 審査の講評及び総評

本事業は、建設から約半世紀が経過し、施設の老朽化が顕著となっている樋の口浄水場及び常盤坂増圧ポンプ場並びに岩木川取水ポンプ場を更新するものである。

事業の実施にあたっては、DBO（設計、建設、維持管理・運転一括発注：Design Build Operate）方式を採用し、事業者が有する技術力、ノウハウ及び創意工夫を活用することにより、長期的な視点から、コスト縮減と安定的な運転を図り、合理的かつ効率的な更新を行うとともに、将来にわたり安全で安定した上水道事業の継続を目的としている。

本審査では上記視点から、応募グループ2者に対して事業計画及び事業執行体制、技術的な提案内容について慎重に審査を行った。

Iグループからは、マシンレス化による継続的なコスト削減、具体的な維持管理性、BIM/CIM等の先進技術を積極的に活用した事業計画について優れた提案があった。一方、IIグループからは、水処理の安定性や確実性、工程計画への工夫、既存施設との切り替えの安定性等について優れた提案があった。

両グループ共に、弘前市水道事業が事業者に求める役割を十分に理解し、また、これまでの豊富な実績や経験を活かし、将来を見据えた甲乙つけがたい提案であったが、Iグループは、先進的な技術や具体的な維持管理等の提案の面において、優位性が認められた。

最優秀提案者のIグループには、長期間にわたる弘前市水道事業の安定、安心、かつ市民に愛される円滑な事業実施と、より良い成果となることを強く期待するものである。

両グループ共に、技術提案書の作成、プレゼンテーション及びヒアリングまでに至るすべての過程にわたって、多大な労力と時間を費やし、真摯に取り組んでいただいたこと、それぞれに独創的で優れた素晴らしい提案をしていただいたことに対して、委員会として深い敬意と感謝を申し上げます。

	氏名	所属・役職
委員長	福士 憲一	学校法人 八戸工業大学 教授・副学長
委員 (委員長職務代理者)	矢口 淳一	独立行政法人 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 教授
委員	飯島 裕胤	国立大学法人 弘前大学 人文社会科学部 教授 (弘前市水道事業経営審議会 会長)
委員	師岡 悟	公益社団法人 日本水道協会 工務部 規格課長
委員	京野 直文	弘前市上下水道部 水道技術管理者 (上水道施設課 参事)